



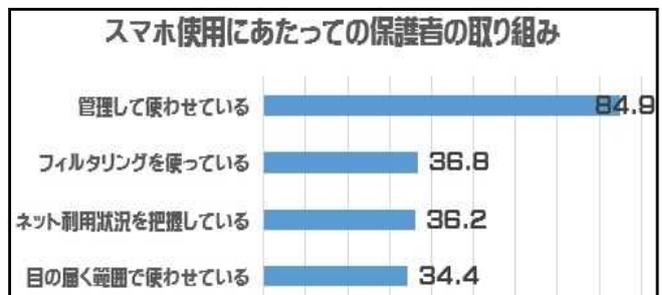
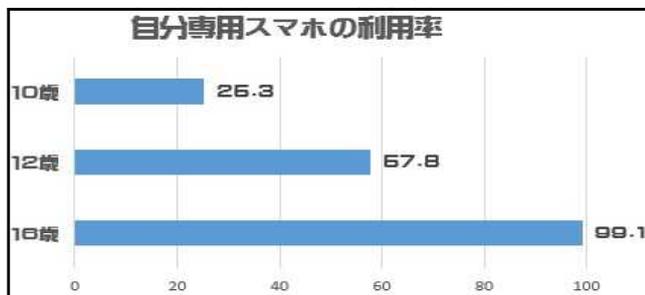
大阪の女児行方不明事件解決で思うこと…



ヴァンフォーレがJ1昇格プレーオフに進出しました。徳島戦には行きたいのですが、さすがに日曜日の午後試合の徳島には行けません。NHK地上波で生放送があるようです。応援してください。徳島応援しても、誰も得しません。(＃^^＃)ところで、日曜日、月曜日はとても暖かく、昨日は肌寒く、10℃以上も違う寒暖差に体がついていけません。昨日は「いい風呂の日」ということで、久しぶりに長風呂で体を温めました。陽が沈むのは早いし、朝起きるとまだ暗いし、嫌な季節になりましたが、今学期もあと1カ月を切りました。頑張りたいと思います。

さて、大阪市住吉区の6年生女児が、400kmも離れた栃木県で発見保護されました。その後のニュースを見聞きする中で、犯人との接点がSNSだったという話を聞き、たいへん驚いています。そのSNSつながりの最初のきっかけは、「荒野行動」というオンラインゲームだったとの話も見聞きますが実際はどうなのでしょう…？ いずれにせよ、無事に保護されたことは「良かった良かった」ですし、言葉巧みに女の子を誘い、携帯と靴を取り上げ監禁し、捕まった今も容疑を否認しているという犯人には憤りを感じますが、その一方で、SNSでつながった見ず知らずの男性についてってしまった女の子はどうだったのでしょうか？

ここ連日、SNSの危険性について報じるニュースを耳にします。そんな中で、昨日までのニュースでこんなデータを知りましたので紹介します。



高校生のほぼ100%所持には驚きもしませんでした。小4小6の数字には驚きました。また、フィルタリングやネット利用状況把握の約3分の1にはこれまた驚き…。携帯会社と、いったいどんな契約をしているのでしょうか？

見ず知らずの人とも交流ができるSNSにはリスクが潜んでいます。同じ趣味を持つ人と知り合うことは簡単です。共通の話題で話が盛り上がり、仲良くなった気がしてくるのでしょう。しかし、インターネット上のやりとりだけで、見えない人の素性がわかるはずありません。年齢、性別、居住地、職業、いくらでもごまかすことはできますし、まして小学生相手ならなおさらです。悪意ある大人の嘘を見抜くことは、子どもには困難です。今回の事件は、まさに女の子が騙されたのです。とはいえ、SNS上で知り合った人に誘拐されたのではなく、初見でついてってしまったという女の子にも非があると言わざるを得ません。

スマホやゲーム機など、インターネットに接続できる端末を子どもが使用しているのなら、今回のようなSNSがきっかけの犯罪は他人事ではありません。No.30でも「スマホ・ネット・ゲームについて考える」と題して問題提起をしましたが、今回の事件を話題にしつつ、SNSについても親子で考えるきっかけとなれば幸いです。